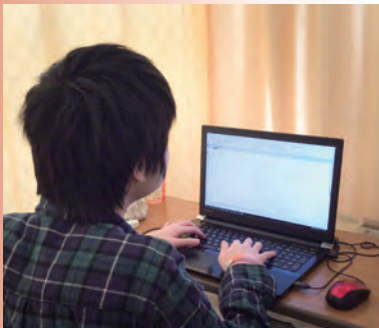


2023年度版



在宅で、ビジネスマナーから国家資格学習まで
一息の長いテレワーカーを目指して一

IT技術者在宅養成講座

(東京都重度身体障害者在宅パソコン講習事業)

社会福祉法人東京コロニー
職能開発室

<https://www.tocolo.or.jp/syokunou/>

IT技術者在宅養成講座とは？

“働きたい”という意欲をもっていても、身体的に重度の障害がある方は、技術を身につける機会がなかなか得られないのが現状です。

IT技術者在宅養成講座は、自宅にいながらにして、就労に必要な情報技術を学ぶ講座です。

この講座の目指すところは？

在宅での就労を考えた場合、パソコンの操作方法だけでなく、より専門的な知識が必要となります。この講座では、情報処理の理論や業務知識などを学習し、その上で実践的な演習を積み重ねることによって、息の長い技術者の育成を目指します。

当カリキュラムの情報技術に関する基礎知識は、経済産業省の基本情報技術者試験に沿っているため、国家資格の取得も可能です（午前試験免除の認定を受けています^(※)）。

また、就労する上で欠かせない社会性やビジネスマナーを身に付けていただくことも目標としています。

講習期間

2年間（2023年4月～2025年3月）

1日4～6時間、週4日以上学習時間を各自で確保していただきます。

夏期休暇（1ヶ月）、春期・冬期休暇（各2週間程度）があります。

講習方法

年間の講習スケジュールとテキストに従って、在宅で学習を行います。

1日の学習終了時に、Web上の講習システムに学習報告していただき、講師がその内容に返信します。質疑応答や課題提出は、講習システムやメールを利用します。

このほかに、講師による自宅への訪問指導（2週間に1回程度）や、センターでのスクーリング（年4～5回半日）があります。状況によりオンラインにて実施することもあります。

カリキュラム

1年目前半

コンピュータの基礎知識を身につける

- Windowsの基本操作、セキュリティの基礎知識
 - 文書作成、表計算アプリケーションソフトの基本的な操作技術
 - 情報技術に関する基礎知識と活用能力（経済産業省「ITパスポート試験」対策）
 - プログラミング入門
- ☆基本情報技術者試験 午前試験免除対象講座（※）

1年目後半～2年目

2つのコースに分かれ実践的な技術を身に付ける
(午前試験免除の認定を受けています^(※))

アプリケーションコース

- 一般的な事務作業に必要とされる情報技術の活用能力
- 文書作成、表計算アプリケーションソフトの実践的な操作技術（「Microsoft Office Specialist試験」対策）
- Webサイト制作技術
- Webアクセシビリティ

プログラマコース

- 基本アルゴリズムとデータ構造
- プログラミング基礎
- 高度IT人材となるために必要な基礎知識と実践的活用能力（経済産業省「基本情報技術者試験」対策）
- Webサイト制作技術
- Webプログラミング

(※)2023年4月より「科目A試験免除」に名称変更。

よくいただく質問

Q 障害の種類に制限はありますか？

A 外出困難な肢体不自由・内部障害などの方が中心となります。視覚障害、聴覚障害などがある場合は、別の機関を紹介させていただく場合がありますので、申込み前にご相談ください。

Q 選考時の適性試験ではどのようなことをするのですか？

A 基本的な計算と国語力のテストです。高校で学習した内容を問うものではありません。

Q パソコンをもっていないのですが？

A 受講にあたっては、Windows搭載パソコンとインターネット接続環境を用意していただく必要があります。なお、機器の選択等でご相談がある場合はお問い合わせください。

Q 講師はどのような人ですか？

A 企業において情報処理業務の経験のある者や、情報処理技術と福祉の有資格者です。

Q 修了後、仕事の紹介はあるのですか？

A 当法人で実施しております「SOHO支援事業」や「職業紹介事業」をご利用いただけます。実際に、現在のところ、100名以上の修了生の方が仕事に就いています。しかし、個人の体調、修得技術、求人の有無などが関わりますので、必ずお約束するものではありません。

Q 年間講習費を一括で支払うのが難しいです。

A 分割でのお支払いなどの対応も可能です。別途お問い合わせください。

修了生からのメッセージ

戸塚 健一さん

2019年 プログラマコース修了

疾患 1種1級

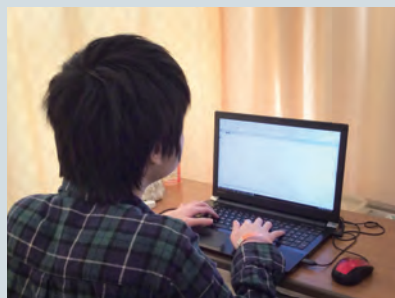
現在フリーランス 仕事と入院生活を両立中

わたしは、病気のため幼少の頃より今日(こんにち)まで入院生活であり、この2年の講座も院内での受講でした。学校は院内学級でしたので、在宅パソコン講習のような遠隔でやりとりする勉強の仕方は体験したことがなく、一人の環境で毎日こつこつ勉強する難しさややりがいを初めて知りました。

講習の中でも集合教育のスクーリングは、皆さんと食事したり話ができて楽しい時間を過ごせました。長期入院で普段なかなか外に出られない自分にとって貴重な外出の機会でした。卒業のグループワークは、既存サイトの英語版ページの制作で、複数人でリモートで共同制作するのは新鮮でした。模擬面接・模擬就労は病院とWeb会議で繋いでの実施だったのが印象に残っています。

☆未来の受講生にひとこと☆

入院中学習が出来ないこともありましたが、仲間や講師の先生方にも助けて頂き何とか2年間やり遂げることが出来ました。現在は、病院という制限のある環境ではありますが、ICT作業を通じて、画像関連の受託業務や有償ボランティアなどを、



外の人と関わりながら実施しています。恐れず、一步を踏み出すことが大事だと考えています。

松尾 美千代さん

2005年 アプリケーションコース修了

関節リウマチ 1種1級

現在株式会社テレビ朝日の在宅勤務社員

もともと百貨店に勤務していましたが、在職中に関節リウマチを発症し退職いたしました。その後、このIT技術者在宅養成講座で2年間学び、国家資格である初級システムアドミニストレータ資格を取得。現在は今の会社でテレビ番組の字幕放送の字幕を制作する仕事をしております。

字幕制作の過程は、メールでの指示はもちろん、映像や資料のダウンロードから素材やメモのアップロードにいたるまで、パソコン作業がほとんどです。思い起こせば、この講習で学んだコンピューターの基礎知識やアプリケーションの利用技術が今の仕事の土台となっていると言えるでしょう。

また、コミュニケーションの取り方やメールのやりとり、様々な課題への取り組み方も講習の中で身につけたものであり、今日の自信につながっています。あわせて時間のやりくり・スケジュールの組み方などの自己管理も実践できたこの2年間は、本当に貴重な時間でありました。

☆未来の受講生にひとこと☆

今こうして在宅勤務ができるのは、今まで出会った多くの方々とともに働く方々の支えがあるからこそだと思っています。

必要としてくれる思いに応えるためにも、体調を崩さず、コンスタントな継続が大事。皆さんも、慣れるまで大変だと思いますが、技術の学習とともに、体調や生活リズムを養う2年間にしてください。



応募について

申込資格

- ①身体障害者手帳を有しその等級が1級～3級である方
- ②外出が困難で一般の教育・訓練・就労の機会が得にくい方
- ③在宅で週4日以上、1日4～6時間程度の学習時間が確保できる方
- ④高校卒業程度の学力を有する方
- ⑤東京都内に住所を有する方
以上の条件を全て満たす方

募集人数

5名程度

費用

テキスト代、サーバー代等講習に必要な費用として年間60,000円。
その他、インターネットの利用料金（回線使用料、プロバイダ料金など）、
資格試験の受験料、スクーリングにかかる交通費、消耗品などは自己負担
となります。

申込方法

以下の5点の書類すべてを当職能開発室宛に郵送して下さい。

- ①履歴書（市販用紙やパソコンなどで作成）※写真貼付のこと
- ②身体障害者手帳のコピー
- ③適性試験に際しての希望事項（募集要項に添付の用紙に記入）
- ④作文「IT講座応募の動機と将来の希望」
400字詰め原稿用紙 2枚程度（パソコン作成可）
- ⑤「IT技術者在宅養成講座応募者の個人情報取得について（同意書）」
（募集要項に添付の用紙に署名を記入）

封筒の表に「IT講座申込」と朱書きをしておいて下さい。
提出して頂いた書類は返却できかねますので予めご了承下さい。

2022年12月14日(水) 消印有効

郵送先

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目 43-11 福祉財団ビル6階
東京コロニー職能開発室

選考方法

- ①書類・作文選考 2022年12月21日(水) までに結果の書面を発送します。
- ②適性試験 2023年1月11日(水) 14:00～16:00
- ③面接 2月1日(水)（適性試験合格者のみ）
- ④総合判定 2月中旬

お問い合わせ

東京コロニー職能開発室
電話：080-4934-5382
<https://www.tocolo.or.jp/syokunou/>